

抗ウイルス剤

パキロビッド®パック 600 300

Paxlovid®PACK

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

薬価基準収載

ニルマトレルビル錠/リトナビル錠

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

注意—特例承認医薬品

抗ウイルス剤

パキロビッド®パック

Paxlovid®PACK

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

薬価基準未収載

ニルマトレルビル錠/リトナビル錠

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

投与前確認項目一覧表 (併用禁忌・併用注意薬剤:五十音順)

**パキロビッド®パック600/300及びパキロビッド®パックの投与に際しては、
最新の電子添文、適正使用ガイドを必ずご確認ください。**

投与前に行う問診・検査

本剤の投与前(診察時や本剤をお渡しする前)に以下の項目について問診および必要に応じて各種検査(腎機能、肝機能等)を実施し、患者の状態を確認してください。

赤枠内に該当する患者には本剤の投与は禁忌です。

確認事項				
禁忌	本剤の成分に対する過敏症の既往歴	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	本剤の投与は禁忌です。
	本剤との併用禁忌の薬剤を投与中	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	本剤の投与は禁忌です。本剤との併用禁忌の薬剤は「併用禁忌薬」の項を参照ください。
	腎機能又は肝機能障害のある患者で、コルヒチンを投与中	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	本剤の投与は禁忌です。
年齢	<input type="checkbox"/> 成人 又は 12歳以上かつ 体重40kg以上の 小児	<input type="checkbox"/> 12歳未満 もしくは 体重40kg未満の 小児		12歳未満もしくは体重40kg未満の小児に対する本剤の使用は承認されていません。小児等を対象とした臨床試験は実施していません。
重症度	<input type="checkbox"/> 軽症又は 中等症 I [※]	<input type="checkbox"/> 中等症 II 又は 重症 [※]		臨床試験では酸素飽和度が92%未満の患者は除外されています。
重症化リスク因子	60歳以上	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子を有する患者を対象に投与してください。 重症化リスク因子の確認にあたっては最新のガイドラインも参考にしてください。
	BMI 25kg/m ² 超	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	喫煙者(過去30日以内の喫煙があり、かつ生涯に100本以上の喫煙がある)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	免疫抑制疾患 ^{a)} 又は 免疫抑制剤の継続投与 ^{b)}	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	

確認事項				
重症化リスク因子	慢性肺疾患(喘息は、処方薬の連日投与を要する場合のみ)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<p>SARS-CoV-2による感染症の重症化リスク因子を有する患者を対象に投与してください。 重症化リスク因子の確認にあたっては最新のガイドラインも参考にしてください。</p>
	高血圧の診断を受けている	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	心血管系疾患(心筋梗塞、脳卒中、一過性脳虚血発作、心不全、ニトログリセリンが処方された狭心症、冠動脈バイパス術、経皮的冠動脈形成術、頸動脈内膜剥離術又は大動脈バイパス術の既往を有する)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	1型又は2型糖尿病	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	慢性腎臓病	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	鎌状赤血球症	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	神経発達障害(脳性麻痺、ダウン症候群等)又は医学的複雑性を付与するその他の疾患(遺伝性疾患、メタボリックシンドローム、重度の先天異常等)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	限局性皮膚がんを除く活動性のがん	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	医療技術への依存(SARS-CoV-2による感染症と無関係な持続陽圧呼吸療法等)	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
	上記の重症化リスク因子に該当しないが、重症化するリスクがある	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
合併症	HIV感染	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有	本剤はリトナビルを含むため、未治療又はコントロール不良のHIV感染患者に投与した場合、HIVプロテアーゼ阻害剤に対する耐性が生じる可能性があります。 リトナビル又はコビシstattを含む抗HIV療法と本剤を併用する場合、リトナビルの用量調節は不要です。
	腎機能障害 (コルヒチンを投与中の患者を除く)	<input type="checkbox"/> 無又は軽度 (eGFR 60mL/min以上90mL/min未満)	<input type="checkbox"/> 中等度 (eGFR 30mL/min以上60mL/min未満)	<パキロビッド®パック600/300> 中等度の腎機能障害患者に処方する場合は、パキロビッド®パック300を使用してください。 <パキロビッド®パック> 中等度の腎機能障害患者に処方する場合は、ニルマトレリビルを減量して投与してください。
	肝機能障害 (コルヒチンを投与中の患者を除く)		<input type="checkbox"/> 重度 (eGFR 30mL/min未満)	投与は推奨しません。臨床推奨用量は検討されていません。
妊娠婦等	妊娠	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 不明 (可能性あり)	妊娠又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与してください。
	授乳婦	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> 該当する	治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討してください。

※重症度分類については最新の「新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第10.1版(診療の手引き編集委員会)」23頁及び「5学会による新型コロナウイルス感染症 診療の指針(編集委員会)」26頁を参照ください。

a)骨髄移植、臓器移植、原発性免疫不全症、CD4陽性細胞数が200/µL未満かつウイルス量が400copies/mL未満のHIV感染症患者等

b)試験組入れ前30日以内に14日以上連続でプレドニゾン20mg/日以上に相当するコルチコステロイドの投与、試験組入れ前90日以内に生物製剤(インフリキシマブ、ウステキヌマブ等)

若しくは免疫調節薬(メトトレキサート、メルカプトプリン、アザチオプリン等)の投与、又はがん化学療法を受けた場合

中等度の腎機能障害患者に対する処方及び調剤について

● パキロビッド®パック600/300の場合

中等度の腎機能障害患者(eGFR:30mL/min以上60mL/min未満)に処方する場合は、パキロビッド®パック300を使用してください。



パキロビッド®パック300の1シート(1日分)には、ニルマトレルビル錠2錠及びリトナビル錠2錠(朝及び夕方2回分)が含まれています。

注意)ニルマトレルビル錠を取り除く必要はありません。

中等度の腎機能障害患者に対しては、

ニルマトレルビル錠1回1錠(ニルマトレルビルとして150mg)と
リトナビル錠1回1錠(リトナビルとして100mg)を同時に1日2回(朝・夕方)、
5日間の経口投与として指示してください。

● パキロビッド®パックの場合

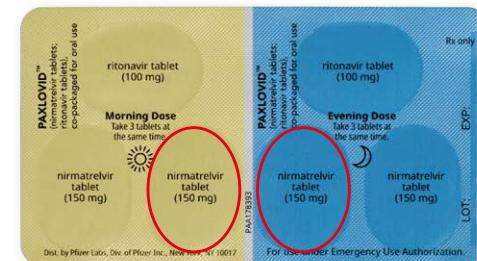
中等度の腎機能障害患者(eGFR:30mL/min以上60mL/min未満)にパキロビッド®パックを調剤する場合は、以下の手順を順守してください。

1

朝服用分及び夕方服用分のシートからそれぞれニルマトレルビル錠を1錠、取り除いてください。

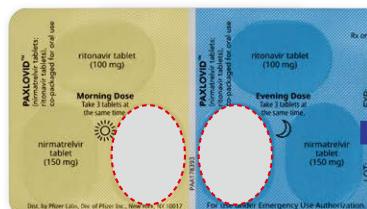
この時、シートの中央から最も近い錠剤(赤丸部)を取り除いてください。

1シート(1日分)には、ニルマトレルビル錠4錠及びリトナビル錠2錠(朝及び夕方2回分)が含まれています。



2

シートの空きポケットを覆うように、「中等度の腎機能障害患者における投与量」シールを正確に貼り付けてください。



3

処方するシート5枚すべてに手順①と②を繰り返してください。

中等度の腎機能障害患者に対しては、

ニルマトレルビル錠1回1錠(ニルマトレルビルとして150mg)と
リトナビル錠1回1錠(リトナビルとして100mg)を同時に1日2回(朝・夕方)、
5日間の経口投与として指示してください。

また、不要な錠剤を取り除いたことを必ず患者に伝えてください。

取り除いた錠剤は医療機関または薬局の手順に従って、適切に廃棄ください。
特段の記録は必要ありません。

裏面もご確認ください。

相互作用

他の薬剤との相互作用は、可能なすべての組み合わせについて検討されているわけではありません。本剤は併用薬剤と相互作用を起こすことがあるため、服薬中のすべての薬剤を確認してください。また、本剤で治療中に新たに他の薬剤を服用する場合、事前に相談するよう患者にご指導ください。

併用禁忌薬(五十音順)

本剤と、これらの薬剤の併用は禁忌です。

薬剤名等	薬効分類	効能又は効果
□アゼルニジピン(カルブロック)	降圧薬	●高血圧症
□アナモレリン塩酸塩*(エドルミズ)	癌液質治療薬	●非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌の悪性腫瘍におけるがん液質
□アパルタミド(アーリーダ)	抗悪性腫瘍薬	●遠隔転移を有しない去勢抵抗性前立腺癌 ●遠隔転移を有する前立腺癌
□アミオダロン塩酸塩(アンカロン)	抗不整脈薬	●生命に危険のある次の再発性不整脈で他の抗不整脈薬が無効か、又は使用できない場合：心室細動、心室性頻拍、心不全(低心機能)又は肥大型心筋症に伴う心房細動
□イバブラジン塩酸塩(コララン)	心不全治療薬	●洞調律かつ投与開始時の安静時心拍数が75回/分以上の慢性心不全 ただし、β遮断薬を含む慢性心不全の標準的な治療を受けている患者に限る。
□エスタゾラム(ユーロジン)	催眠鎮静薬 抗不安薬	●不眠症 ●麻醉前投薬
□エプレレノン(セララ)	降圧薬	●高血圧症 ●次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬又はアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬、β遮断薬、利尿薬等の基礎治療を受けている患者：慢性心不全
□エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン(クリアミン)	頭痛治療薬	●血管性頭痛、片頭痛、緊張性頭痛
□エルゴメトリンマレイン酸塩*	子宮収縮薬	●子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療
□エレトリプタン臭化水素酸塩(レルパックス)	片頭痛治療薬	●片頭痛
□エンザルタミド(イクスタンジ)	抗悪性腫瘍薬	●去勢抵抗性前立腺癌 ●遠隔転移を有する前立腺癌
□オルメサルタン メドキソミル・アゼルニジピン(レザルタス配合錠)	降圧薬	●高血圧症
□カルバマゼピン(テグレトール)	抗てんかん薬	●精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作(全般痙攣発作、大発作) ●躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態 ●三叉神経痛
□キニジン硫酸塩水和物	抗不整脈薬	●期外収縮(上室性、心室性) ●発作性頻拍(上室性、心室性) ●新鮮心房細動、発作性心房細動の予防、陳旧性心房細動 ●心房粗動 ●電気ショック療法との併用及びその後の洞調律の維持 ●急性心筋梗塞における心室性不整脈の予防
□クロラゼプ酸二カリウム(メンドン)	催眠鎮静薬 抗不安薬	●神経症における不安・緊張・焦躁・抑うつ
□ジアゼパム*(セルシン、ホリゾン)	抗不安薬 抗てんかん薬	●神経症における不安・緊張・抑うつ ●うつ病における不安・緊張 ●心身症における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ ●脳脊髄疾患に伴う筋痙攣・疼痛における筋緊張の軽減 ●麻醉前投薬 ●てんかん様重積状態におけるけいれんの抑制(注射剤)
□ジヒドロエルゴタミンメシリ酸塩	片頭痛治療薬	●片頭痛(血管性頭痛) ●起立性低血圧
□シルデナフィルクエン酸塩(レバチオ)	肺高血圧症治療薬	●肺動脈性肺高血圧症
□スポレキサント(ベルソムラ)	催眠鎮静薬 抗不安薬	●不眠症
□セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品(ハーブティー、サプリメントなど)	その他	
□タダラフィル(アドシリカ)	肺高血圧症治療薬	●肺動脈性肺高血圧症

薬剤名等	薬効分類	効能又は効果
□チカグレロル* (ブリリンクタ)	抗血小板薬	●経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される急性冠症候群(不安定狭心症、非ST上昇心筋梗塞、ST上昇心筋梗塞) ●リスク因子を1つ以上有する陳旧性心筋梗塞のうち、アテローム血栓症の発現リスクが特に高い場合
□トリアゾラム(ハルシオン)	催眠鎮静薬 抗不安薬	●不眠症 ●麻醉前投薬
□バルデナフィル塩酸塩水和物*(レビトラ)	勃起不全改善薬	●勃起不全
□ピモジド*	抗精神病薬	●統合失調症 ●小児の自閉性障害、精神遅滞に伴う諸症状
□フィネレノン (ケレンディア)	糖尿病合併 慢性腎臓病治療薬	●2型糖尿病を合併する慢性腎臓病
□フェニトイン (ヒダントール、アレビアチン)	抗てんかん薬	【経口薬】●てんかんのけいれん発作:強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) ●自律神経発作 ●精神運動発作 【注射薬】●てんかん様けいれん発作が長時間引き続いている場合(てんかん発作重積症) ●経口投与が不可能でかつけいれん発作の出現が濃厚に疑われる場合(特に意識障害、術中、術後) ●急速にてんかん様けいれん発作の抑制が必要な場合
□フェノバルビタール (フェノバルル)	抗てんかん薬	●不眠症 ●不安緊張状態の鎮静 ●てんかんのけいれん発作:強直間代発作(全般けいれん発作、大発作)、焦点発作(ジャクソン型発作を含む) ●自律神経発作、精神運動発作
□フルラゼパム塩酸塩(ダルメート)	催眠鎮静薬 抗不安薬	●不眠症 ●麻醉前投薬
□フレカイニド酢酸塩 (タンボコール)	抗不整脈薬	●下記の状態で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 【成人】頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、心室性) 【小児】頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性)
□プロナンセリン(ロナセン)	抗精神病薬	●統合失調症
□プロパフェノン塩酸塩*(プロノン)	抗不整脈薬	●頻脈性不整脈で他の抗不整脈薬が使用できないか又は無効の場合
□ベネトクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期)(ベネクレクスタ)	抗悪性腫瘍薬	●再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む) ●急性骨髓性白血病
□ペプリジル塩酸塩水和物* (ペプリコール)	抗不整脈薬	●持続性心房細動、頻脈性不整脈(心室性)で他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合 ●狭心症
□ボクロスボリン(ルプキネス)	免疫疾患治療薬	●ループス腎炎
□ホスフェニトイントリウム水和物 (ホストイン)	抗てんかん薬	●てんかん重積状態 ●脳外科手術又は意識障害(頭部外傷等)時のてんかん発作の発現の抑制 ●フェニトインを経口投与しているてんかん患者における一時的な代替療法
□ボリコナゾール* (ブイフェンド)	抗真菌薬	●各種重症又は難治性真菌感染症 ●造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防
□マバカムテン(カムザイオス)	心筋症治療剤	●閉塞性肥大型心筋症
□ミダゾラム (ドルミカム、ミダフレッサ)	麻酔薬 抗てんかん薬	【ドルミカム】●麻酔前投薬 ●全身麻酔の導入及び維持 ●集中治療における人工呼吸中の鎮静 ●歯科・口腔外科領域における手術及び処置時の鎮静 【ミダフレッサ】●てんかん重積状態
□メチルエルゴメトリンマレイン酸塩*(パルタン)	子宮収縮薬	●子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療
□メペンゾラート臭化物・フェノバルビタール(トランコロンP配合錠)	過敏性腸症候群治療薬	●過敏大腸症(イリタブルコロン)
□リバーロキサバン (イグザレルト)	抗凝固薬	【成人】●非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 ●静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制 【小児】●静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制
□リファブチン (ミコブテイン)	抗結核薬	●結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症、HIV感染患者における播種性MAC症の発症抑制
□リファンピシン (リファジン)	抗結核薬	●肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症、ハンセン病
□ルラシドン塩酸塩(ラツーダ)	抗精神病薬	●統合失調症 ●双極性障害におけるうつ症状の改善
□ロミタピドメシリ酸塩(ジャクスタピッド)	高脂血症治療薬	●ホモ接合体家族性高コレステロール血症

※電子添文に記載されている効能又は効果と異なる表現が含まれています。
各薬剤の効能又は効果を含む詳細については、最新の電子添文をご確認ください。

併用注意薬(五十音順)

本剤と、これらの薬剤を併用する場合には、注意してください。

薬剤名等	薬効分類
□アトルバスタチンカルシウム水和物	高脂血症治療薬
□アピキサバン	抗凝固薬
□アファチニブマレイン酸塩	抗悪性腫瘍薬
□アムロジピンベシル酸塩	降圧薬
□アルプラゾラム	抗不安薬
□アルベンダゾール	抗寄生虫薬
□イサブコナゾニウム硫酸塩	抗真菌薬
□イトラコナゾール	抗真菌薬
□イブルチニブ	抗悪性腫瘍薬
□イリノテカン塩酸塩水和物	抗悪性腫瘍薬
□ウパダシチニブ水和物	免疫疾患治療薬
□エストラジオール安息香酸エステル	女性ホルモン製剤
□エチニルエストラジオール	経口避妊薬
□エファビレンツ	抗HIV薬
□エベロリムス	抗悪性腫瘍薬 免疫疾患治療薬
□エリスロマイシン	抗菌薬
□エンコラフェニブ	抗悪性腫瘍薬
□オキシコドン塩酸塩水和物	麻薬性鎮痛薬
□キニーネ	抗寄生虫薬
□クエチアピノフマル酸塩	抗精神病薬
□クラリスロマイシン	抗菌薬
□グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル	抗C型肝炎ウイルス薬
□クロピドグレル硫酸塩	抗血小板薬
□クロピドグレル硫酸塩・アスピリン	抗血小板薬
□ケトコナゾール*	抗真菌薬
□ゲフィチニブ	抗悪性腫瘍薬
□コルヒチン	痛風治療薬
□サルメテロールキシナホ酸塩	気管支拡張薬
□シクレソニド	気管支喘息治療薬
□シクロスボリン	免疫疾患治療薬
□ジゴキシン	ジギタリス製剤
□ジドブジン	抗HIV薬
□ジルチアゼム塩酸塩	降圧薬
□シルデナフィルクエン酸塩(バイアグラ)	勃起不全改善薬
□シロスタゾール	抗血小板薬
□シロリムス	抗悪性腫瘍薬
□シンバスタチン	高脂血症治療薬
□セリチニブ	抗悪性腫瘍薬
□タクロリムス水和物	免疫疾患治療薬
□ダサチニブ水和物	抗悪性腫瘍薬
□タダラフィル(シアリス、ザルティア)	勃起不全改善薬
□タバコ	その他
□ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	抗凝固薬

薬剤名等	薬効分類
□タモキシフェンクエン酸塩	抗悪性腫瘍薬
□ダルナビル エタノール付加物	抗HIV薬
□テオフィリン	気管支拡張薬
□デキサメタゾン	副腎皮質ステロイド
□トファシチニブクエン酸塩	免疫疾患治療薬
□トラゾドン塩酸塩	抗うつ薬
□トリアムシノロンアセトニド	副腎皮質ステロイド
□トレミフェンクエン酸塩	抗悪性腫瘍薬
□ニカルジピン塩酸塩	降圧薬
□ニトレングイピン	降圧薬
□ニフェジピン	降圧薬
□ニルバジピン	降圧薬
□ニロチニブ塩酸塩水和物	抗悪性腫瘍薬
□ネビラピン	抗HIV薬
□バルプロ酸ナトリウム	抗てんかん薬
□ビンクリスチン硫酸塩	抗悪性腫瘍薬
□ビンプラスチン硫酸塩	抗悪性腫瘍薬
□フェロジピン	降圧薬
□フェンタニル	麻薬性鎮痛薬
□フェンタニルクエン酸塩	麻薬性鎮痛薬
□ブデソニド	副腎皮質ステロイド
□フルコナゾール	抗真菌薬
□フルチカゾンプロピオニ酸エステル	副腎皮質ステロイド
□プロモクリプチンメシル酸塩	パーキンソン病治療薬
□ベネットクラクス(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の維持投与期、急性骨髓性白血病)	抗悪性腫瘍薬
□ベラパミル塩酸塩	抗不整脈薬
□ホスフルコナゾール	抗真菌薬
□ボセンタン水和物	肺高血圧症治療薬
□マラビロク	抗HIV薬
□ミコナゾール	抗真菌薬
□モメタゾンフランカルボン酸エステル	気管支喘息治療薬
□ラモトリギン	抗てんかん薬
□リオシグアト	肺高血圧症治療薬
□リドカイン	局所麻酔薬
□リドカイン塩酸塩	抗不整脈薬
□リメガパント硫酸塩水和物	片頭痛治療薬
□ロスバスタチンカルシウム	高脂血症治療薬
□ロペラミド塩酸塩	腸運動抑制薬
□ワルファリンカリウム	抗凝固薬

*経口剤は国内未販売
各薬剤の効能又は効果を含む詳細については、最新の電子添文をご確認ください。
併用注意薬に関する臨床症状・措置方法等については、最新の電子添文をご確認ください。

表面もご確認ください。